

C01 無機化学

注

(1)サブクラスC 0 1 B ~ C 0 1 Gにおいては,ラストプレイス優先ルールが適用される,すなわち各階層レベルにおいて相反する指示のない限り,化合物は最後の適切な箇所に分類する,例.過マンガン酸カリウムは,サブクラスC 0 1 Gに過マンガン酸塩としてのみ分類する[3]

(2)化合物または組成物の殺生物,有害生物忌避,有害生物誘引または植物生長調節活性は,さらにサブクラスA 0 1 Pに分類する.[8]

化学

C01B 非金属元素;その化合物 (発酵によるかまたは酵素を使用した元素または二酸化炭素以外の無機化合物の製造C 1 2 P 3 / 0 0 ;電気分解または電気泳動による非金属元素または無機化合物の製造C 2 5 B)

注

(1)このサブクラスでは,グループの範囲を正確に定義するため科学文献および特許文献でしばしば使われる商品名が使用されている.[6]

(2)Cセクションのタイトルに続く化学元素のグループの定義に注意すること[3]

(3)サブクラスC 0 1 BからC 0 1 Gに適用するラストプレイス優先ルールを規定するクラスC 0 1 に続くクラス注(1)に注意すること.[2]

(4)化合物の治療活性は,サブクラスA 6 1 Pにさらに分類する.[7]

サブクラス内の索引

水素;水素同位元素;水;水素化合物C 01 B 3/00; C 01 B 4/00; C 01 B 5/00; C 01 B 6/00

合成ガス..... C 01 B 3/00

ハロゲン,その化合物.. C 01 B 7/00, C 01 B 9/00, C 01 B 11/00

酸素,酸化物一般;過化合物..... C 01 B 13/00; C 01 B 15/00

いおう,その化合物..... C 01 B 17/00

窒素,その化合物..... C 01 B 21/00

りん,その化合物..... C 01 B 25/00

炭素,その化合物..... C 01 B 32/00

けい素,その化合物..... C 01 B 33/00

セレンまたはテルル;ほう素..... C 01 B 19/00; C 01 B 35/00

希ガス..... C 01 B 23/00

分子ふるい特性を有するが塩基交換特性を有しない化合物 C 01 B 37/00

分子ふるい特性と塩基交換特性を有する化合物 C 01 B 39/00

水素;水素化合物;水;炭化水素からの合成ガス

3/00 水素;水素を含有する混合ガス;水素を含有する混合物からのその分離;水素の精製;水素の可逆的貯蔵(固体炭素質物質からの水性ガスまたは合成ガスの製造C 1 0 J)[2 0 2 6 . 0 1]

3/0005 ・水素の可逆的貯蔵,例.水素ゲッターマ

たは電極[2 0 2 6 . 0 1]

注

注[2 0 2 6 . 0 1]

グループC 0 1 B 3 / 0 0 0 5 - C 0 1 B 3 / 0 0 8 4においては,ラストプレイス優先ルールが適用されない。

3/001 ・貯蔵材料に特徴のあるもの;その処理[2 0 2 6 . 0 1]

3/0015 ・有機化合物,例.液体有機水素キャリア[L O H C]または金属有機化合物;その溶液[2 0 2 6 . 0 1]

3/0018 ・無機元素または化合物,例.酸化物,窒化物,水素化ホウ素化合物またはゼオライト;その溶液[2 0 2 6 . 0 1]

3/0021 ・元素状炭素,例.活性炭,カーボンナノチューブまたはフラーレン[2 0 2 6 . 0 1]

3/0026 ・金属または金属水素化物[2 0 2 6 . 0 1]

3/0031 ・金属間化合物;金属合金[2 0 2 6 . 0 1]

3/0036 ・鉄およびチタンのみを含む[2 0 2 6 . 0 1]

3/0042 ・マグネシウムおよびニッケルのみを含む[2 0 2 6 . 0 1]

3/0047 ・希土類金属を含む[2 0 2 6 . 0 1]

3/0073 ・スラリー;懸濁液[2 0 2 6 . 0 1]

3/0078 ・複合固体貯蔵材料,例.高分子と金属水素化物の混合物,被覆固体化合物または構造的に不均質な固体化合物[2 0 2 6 . 0 1]

3/0084 ・その形状を特徴とする固体貯蔵材料,例.多孔性成形物または中空状粒子[2 0 2 6 . 0 1]

3/0089 ・オルト-パラ変換[2 0 2 6 . 0 1]

3/0094 ・原子状水素[2 0 2 6 . 0 1]

3/02 ・水素の製造;水素含有混合ガスの製造[2 0 2 6 . 0 1]

3/025 ・アンモニア合成用の混合ガスの製造または精製[2 0 2 6 . 0 1]

3/04 ・無機化合物の分解によるもの(水素の可逆的貯蔵C 0 1 B 3 / 0 0 1 8 J)[2 0 2 6 . 0 1]

3/042 ・水の分解(水の電気分解によるものC 2 5 B 1 / 0 4) [2 0 2 6 . 0 1]

3/046 ・触媒を使用するもの[2 0 2 6 . 0 1]

3/047 ・アンモニアの分解によるもの[2 0 2 6 . 0 1]

3/06 ・エレクトロポジティブに結合した水素を含有する無機化合物と無機還元剤との反応によるもの[2 0 2 6 . 0 1]

3/061 ・水と金属酸化物との反応によるもの

	[2 0 2 6 . 0 1]		
3/065	・ ・ ・ 無機化合物と水素化物との反応によるもの [2 0 2 6 . 0 1]	3/46	・ ・ ・ 不連続的に予熱された非移動固体材料を用いるもの, 例 . プラストとラン [3]
3/08	・ ・ ・ 無機化合物と金属との反応によるもの [2 0 2 6 . 0 1]	3/48	・ ・ ・ ・ 一酸化炭素と水蒸気との反応にしたがうもの [3]
3/10	・ ・ ・ ・ 水蒸気と金属との反応によるもの [2 0 2 6 . 0 1]	3/50	・ 混合ガスからの水素または水素含有ガスの分離, 例 . 精製 [2 0 2 6 . 0 1]
3/103	・ ・ ・ 反応サイクル, 例 . 硫黄 - ヨウ素サイクル, の結果として水から生成される水素 [2 0 2 6 . 0 1]	3/501	・ ・ 拡散によるもの [2 0 2 6 . 0 1]
3/12	・ ・ ・ 水蒸気と一酸化炭素との反応によるもの [2 0 0 6 . 0 1]	3/503	・ ・ ・ 膜に特徴のあるもの [2 0 2 6 . 0 1]
3/14	・ ・ ・ ・ 熱および蒸気の運用 [3]	3/505	・ ・ ・ ・ パラジウムを含有する膜 [2 0 2 6 . 0 1]
3/16	・ ・ ・ ・ 触媒を使用するもの [3]	3/506	・ ・ 低温におけるもの [2 0 2 6 . 0 1]
3/18	・ ・ ・ ・ 移動固体粒子を使用するもの [3]	3/508	・ ・ 水素貯蔵材料を用いるもの (水素の可逆的貯蔵 C 0 1 B 3 / 0 0 0 5) [2 0 2 6 . 0 1]
3/20	・ ・ ・ 金属水酸化物と一酸化炭素との反応によるもの [3]	3/52	・ ・ 液体との接触によるもの; 使用液体の再生 [3]
3/22	・ ・ 気体または液体有機化合物の分解によるもの [3]	3/54	・ ・ ・ 触媒反応を含むもの [3]
3/24	・ ・ ・ 炭化水素の [3]	3/56	・ ・ 固体との接触によるもの; 使用固体の再生 [3]
3/26	・ ・ ・ ・ 触媒を使用するもの [3]	3/58	・ ・ ・ 触媒反応を含むもの [3]
3/28	・ ・ ・ ・ 移動固体粒子を使用するもの, 例 . 流動床技術 [2 0 2 6 . 0 1]	4/00	水素同位元素; 同位元素交換により製造されるその無機化合物, 例 . $\text{NH}_3 + \text{D}_2 \rightarrow \text{NHD} + \text{HD}$ [2 0 0 6 . 0 1]
3/32	・ ・ 気体または液体有機化合物とガス化剤, 例 . 水, 二酸化炭素, または空気との反応によるもの [2 0 2 6 . 0 1]	5/00	水
3/323	・ ・ ・ 炭化水素以外の気体または液体有機化合物とガス化剤との触媒反応によるもの [2 0 2 6 . 0 1]	5/02	・ 重水; 水素同位元素またはその化合物の化学反応による製造, 例 . $4\text{ND}_3 + 7\text{O}_2 \rightarrow 4\text{NO}_2 + 6\text{D}_2\text{O}$, $2\text{D}_2 + \text{O}_2 \rightarrow 2\text{D}_2\text{O}$
3/3231	・ ・ ・ ・ アルコールとの, 例 . メタノールまたはエタノール [2 0 2 6 . 0 1]	6/00	金属の水素化物; モノボランまたはジボラン; その付加錯化合物 [2]
3/326	・ ・ ・ ・ 触媒を特徴とするもの [2 0 2 6 . 0 1]	6/02	・ 遷移元素の水素化物; その付加錯化合物
3/34	・ ・ ・ ガス化剤と炭化水素との反応によるもの [3]	6/04	・ アルカリ金属, アルカリ土類金属, ベリリウムまたはマグネシウムの水素化物; それらの付加錯化合物
3/36	・ ・ ・ ・ ガス化剤として酸素を用いるもの; 酸素含有混合物を用いるもの [2 0 2 6 . 0 1]	6/06	・ アルミニウム, ガリウム, インジウム, タリウム, ゲルマニウム, 錫, 鉛, ひ素, アンチモン, ビスマスまたはポロニウムの水素化物; モノボラン; ジボラン; それらの付加錯化合物
3/363	・ ・ ・ ・ ・ パーナーを特徴とするもの [2 0 2 6 . 0 1]	6/10	・ ・ モノボラン; ジボラン; それらの付加錯化合物 [2]
3/38	・ ・ ・ ・ 触媒を用いるもの [2 0 2 6 . 0 1]	6/11	・ ・ ・ ほう素またはほう素と酸素を含有する無機化合物からの製造 [2]
3/382	・ ・ ・ ・ ・ 少なくとも 1 つが触媒反応である 2 つ以上の反応ステップからなるプロセス, 例 . 水蒸気改質および部分酸化 [2 0 2 6 . 0 1]	6/13	・ ・ ・ モノボランまたはジボランの付加錯化合物, 例 . ホスフィン, アルシンまたはヒドラジンとの [2]
3/384	・ ・ ・ ・ ・ 触媒の外部加熱を有するもの [2 0 2 6 . 0 1]	6/15	・ ・ ・ ・ 金属ほう素水素化物; その付加錯化合物 [2]
3/386	・ ・ ・ ・ ・ 触媒による部分燃焼 [2 0 2 6 . 0 1]	6/17	・ ・ ・ ・ ・ ほう素またはほう素と酸素とを含有する無機化合物からの製造 [2]
3/40	・ ・ ・ ・ ・ 触媒を特徴とするもの [3]	6/19	・ ・ ・ ・ ・ 他の方素化合物からの製造 [2]
3/42	・ ・ ・ ・ ・ 移動固体粒子を使用するもの, 例 . 流動床技術 [2 0 2 6 . 0 1]		

- 6/21 ・ ・ ・ ・ ・ アルカリ金属，アルカリ土類金属，マグネシウムまたはベリリウムのほう水素化物の製造；それらの付加錯化合物，例． $\text{LiBH}_4 \cdot 2\text{N}_2\text{H}_4$ ， NaB_2H_7 [2]
- 6/23 ・ ・ ・ ・ ・ 他の金属ほう水素化物の製造，例．ほう水素化アルミニウム；その付加錯化合物，例． $\text{Li}[\text{Al}(\text{BH}_4)_3\text{H}]$ [2]
- 6/24 ・ 少なくとも 2 種の金属を含む水素化物，例． $\text{Li}(\text{AlH}_4)$ ；その付加錯化合物（C 0 1 B 6 / 1 3 ~ C 0 1 B 6 / 2 3 が優先）[2]
- 6/26 ・ ・ 最高イオン価を有する金属またはその酸化物またはそのオキソ酸の塩からの製造
- 6/34 ・ 精製；安定化

ハロゲン；その化合物

- 7/00 ハロゲン；ハロゲン化水素酸
- 7/01 ・ 塩素；塩化水素 [2]
- 7/03 ・ ・ 塩化物からの製造 [2 , 3]
- 7/04 ・ ・ ・ 塩化水素からの塩素の製造 [3]
- 7/05 ・ ・ ・ 塩化アンモニウムからの製造 [2 , 3]
- 7/07 ・ ・ 精製 [2 , 3]
- 7/075 ・ ・ ・ 液体塩素の [2 , 3]
- 7/09 ・ 臭素；臭化水素 [2]
- 7/13 ・ よう素；よう化水素 [2]
- 7/14 ・ ・ よう素 [2]
- 7/16 ・ ・ ・ 海草からの製造 [2]
- 7/19 ・ ふっ素；ふっ化水素 [2]
- 7/20 ・ ・ ふっ素 [2]
- 7/24 ・ ハロゲン間化合物
- 9/00 ハロゲン化物製造の一般的方法（個々のハロゲン化物は，ハロゲンと結合している元素にしたがって C 0 1 B ~ C 0 1 G の該当するグループ参照，無機化合物の電解製造 C 2 5 B ）
- 9/02 ・ 塩化物
- 9/04 ・ 臭化物
- 9/06 ・ よう化物
- 9/08 ・ ふっ化物
- 11/00 ハロゲンの酸化物またはオキシ酸；その塩
- 11/02 ・ 塩素の酸化物
- 11/04 ・ 次亜塩素酸
- 11/06 ・ ・ 次亜塩素酸塩，例．塩素化石灰
- 11/08 ・ 亜塩素酸
- 11/10 ・ ・ 亜塩素酸塩
- 11/12 ・ 塩素酸
- 11/14 ・ ・ 塩素酸塩
- 11/16 ・ 過塩素酸
- 11/18 ・ ・ 過塩素酸塩

- 11/20 ・ 臭素の酸素化合物
- 11/22 ・ よう素の酸素化合物
- 11/24 ・ ふっ素の酸素化合物

酸素；酸化物または水酸化物一般；過化合物

- 13/00 酸素；オゾン；酸化物または水酸化物一般
- 13/02 ・ 酸素の製造（液化によるもの F 2 5 J ）
- 13/08 ・ ・ 金属酸化物，例．酸化バリウム，酸化マンガン，の助けにより空気から製造するもの
- 13/10 ・ オゾンの製造
- 13/11 ・ ・ 放電によるもの [2]
- 13/14 ・ 酸化物または水酸化物の一般的製造方法（特に個々の酸化物または水酸化物は酸素または水酸基と結合する元素にしたがって C 0 1 B ~ C 0 1 G または C 2 5 B の該当するグループを参照）
- 13/16 ・ ・ 精製 [3]
- 13/18 ・ ・ 化合物の，例．塩または水酸化物の，熱分解 [3]
- 13/20 ・ ・ ガス状態にある元素の酸化によるもの；ガス状態にある化合物の酸化または加水分解によるもの [3]
- 13/22 ・ ・ ・ ハロゲン化物またはオキシハロゲン化物の [3]
- 13/24 ・ ・ ・ 燃焼熱ガスの存在における [3]
- 13/26 ・ ・ ・ 流動床の存在における [3]
- 13/28 ・ ・ ・ プラズマまたは放電を用いるもの [3]
- 13/30 ・ ・ ・ 酸化物を含む懸濁物の除去と冷却 [3]
- 13/32 ・ ・ 液体または固体の状態にある元素または化合物の酸化または加水分解によるもの [3]
- 13/34 ・ ・ 霧化または噴霧された溶液の酸化または加水分解によるもの [3]
- 13/36 ・ ・ 溶液中の沈でん反応によるもの [3]
- 15/00 過酸化物；過酸化水素化物；ペルオキシ酸またはその塩；超酸化物；オゾニド
- 15/01 ・ 過酸化水素 [3]
- 15/013 ・ ・ 分離；精製；濃縮 [3]
- 15/017 ・ ・ ・ 無水過酸化水素；過酸化水素を含む無水溶液またはガス状混合物 [3]
- 15/022 ・ ・ 有機化合物からの製造 [2]
- 15/023 ・ ・ ・ アルキル アントラキノン法によるもの [3]
- 15/024 ・ ・ ・ 炭化水素からのもの [3]
- 15/026 ・ ・ ・ アルコールからのもの [3]
- 15/027 ・ ・ 水からの製造 [3]
- 15/029 ・ ・ 水素および酸素からの製造 [3]
- 15/03 ・ ・ 無機過酸化化合物からの，例．ペルオキシ硫酸塩からの，製造 [3]
- 15/032 ・ ・ ・ 金属の過酸化物からの製造 [3]

C 0 1 B

15/037	・ ・ 添加剤による安定化 [3]	17/44	・ ・ 硫酸塩の還元によるもの
15/04	・ 金属過酸化物またはその過酸化水素化物；超酸化物；オゾン [3]	17/45	・ いおうとハロゲンとを含有し，酸素を伴うまたは伴わない化合物
15/043	・ ・ アルカリ金属，アルカリ土類金属のまたはマグネシウムの [2 , 3]	17/46	・ いおう，ハロゲン，水素および酸素を含有する化合物
15/047	・ ・ 重金属の [2 , 3]	17/48	・ 二酸化いおう；亜硫酸
15/055	・ 過酸化水素化物 (C 0 1 B 1 5 / 0 4 が優先) ; ペルオキシ酸またはその塩 [3]	17/50	・ ・ 二酸化いおうの製造
15/06	・ ・ いおうを含むもの [3]	17/52	・ ・ ・ 硫化物のばい焼によるもの (原鉱石またはスクラップの予備的処理一般 C 2 2 B 1 / 0 0) [2 0 0 6 . 0 1]
15/08	・ ・ ・ ペルオキシ硫酸塩 [3]	17/54	・ ・ ・ 元素状いおうの燃焼によるもの
15/10	・ ・ 炭素を含むもの [3]	17/56	・ ・ ・ 分離；精製
15/12	・ ・ ほう素を含むもの [3]	17/58	・ ・ ・ アシッドタールまたは同等物から二酸化いおうの回収
15/14	・ ・ けい素を含むもの [3]	17/60	・ ・ ・ ガスから二酸化いおうの分離
15/16	・ ・ りんを含むもの [3]	17/62	・ 亜硫酸塩の一般的製造方法 (特に個々の亜硫酸塩は陽イオンにしたがい C 0 1 B ~ C 0 1 G 中の該当するグループ参照)
17/00	いおう；その化合物	17/64	・ チオ硫酸塩；亜二チオン酸塩；多チオン酸塩
17/02	・ いおうの製造；精製	17/66	・ ・ 亜二チオン酸塩
17/027	・ ・ 元素状いおうを含む原料，例．ルックスマス，からのいおうの回収；精製 [3]	17/69	・ 三酸化いおう；硫酸 [3]
17/033	・ ・ ・ 液体抽出剤を用いるもの [3]	17/70	・ ・ 型三酸化いおうの安定化
17/04	・ ・ ガス状硫化物を含むガス状いおう化合物からのもの	17/74	・ ・ 製造 [3]
17/05	・ ・ ・ 湿式法によるもの [3]	17/76	・ ・ ・ 接触法による
17/06	・ ・ 非ガス状硫化物またはそのような硫化物を含む原料，例．鉱石，からのもの	17/765	・ ・ ・ ・ 多段式 S O ₃ 転化 [3]
17/10	・ ・ 粉状いおう，例．昇華いおう，いおう華	17/77	・ ・ ・ ・ 流動床法 [3]
17/12	・ ・ 不溶性いおう (μ - いおう)	17/775	・ ・ ・ ・ 液相接触法または湿式触媒法 [3]
17/16	・ 硫化水素	17/78	・ ・ ・ ・ 使用触媒を特徴とするもの
17/18	・ ・ 水素多硫化物	17/79	・ ・ ・ ・ ・ バナジウムを含むもの [3]
17/20	・ 硫化物または多硫化物の一般的製造方法 (硫化または多硫化アンモニウム C 0 1 C ; アルカリ金属，マグネシウム，カルシウム，ストロンチウムおよびバリウム以外の金属硫化物または多硫化物はその金属にしたがい C 0 1 F または C 0 1 G の該当するグループ参照)	17/80	・ ・ ・ ・ ・ 装置
17/22	・ アルカリ金属硫化物または多硫化物	17/82	・ ・ ・ 酸化窒素法を用いる硫酸の
17/24	・ ・ 還元による製造	17/84	・ ・ ・ ・ 鉛室法
17/26	・ ・ ・ 炭素によるもの	17/86	・ ・ ・ ・ 塔式法
17/28	・ ・ ・ 還元性ガスによるもの	17/88	・ ・ 硫酸の濃縮
17/30	・ ・ ナトリウムまたはカリウムアマルガムといおうまたは硫化物からの製造	17/90	・ ・ 分離；精製
17/32	・ ・ ナトリウムまたはカリウムの水硫化物	17/92	・ ・ ・ アシッドタールまたは同等物からの回収
17/34	・ ・ ナトリウムまたはカリウムの多硫化物	17/94	・ ・ ・ ニトロ化用酸からの回収
17/36	・ ・ 精製	17/96	・ 硫酸塩の一般的製造方法 (特に個々の硫酸塩は陽イオンにしたがい C 0 1 B ~ C 0 1 G 中の該当するグループ参照)
17/38	・ ・ 脱水	17/98	・ いおうと酸素を含有する他の化合物 (過硫酸 C 0 1 B 1 5 / 0 6 ; 過硫酸塩 C 0 1 B 1 5 / 0 8)
17/40	・ ・ 成形品，例．粒，の製造	19/00	セレン；テルル；それらの化合物
17/42	・ マグネシウム，カルシウム，ストロンチウムまたはバリウムの硫化物または多硫化物	19/02	・ 元素状セレンまたはテルル [3]
17/43	・ ・ 酸化物または水酸化物といおうまたは硫化水素とからのもの	19/04	・ 二元化合物 [3]
		21/00	窒素；その化合物
		21/02	・ 窒素の製造 (アンモニアの分解による C 0 1 B 3 / 0 4)
		21/04	・ 窒素の精製または分離 (液化によるもの F 2 5 J)

21/06	・窒素と金属，けい素またはほう素とからなる二元化合物		硝酸塩は陽イオンにしたがいC 0 1 B ~ C 0 1 G中の該当するグループ参照)
21/064	・・ほう素との化合物 [3]	21/50	・・亜硝酸；その塩
21/068	・・けい素との化合物 [3]	23/00	希ガス；その化合物 (液化 F 2 5 J)
21/072	・・アルミニウムとの化合物 [3]	25/00	りん；その化合物 (C 0 1 B 2 1 / 0 0 , C 0 1 B 2 3 / 0 0 が優先；過りん酸塩 C 0 1 B 1 5 / 1 6) [3]
21/076	・・チタンまたはジルコニウムとの化合物 [3]	25/01	・りんまたはりん化合物を得るためのりん酸塩鉱石または他のりん酸塩原料の処理 [2]
21/08	・アジ化水素；アジド；ハロゲン化アジド	25/02	・りんの製造
21/082	・窒素と非金属とを含む化合物 (C 0 1 B 2 1 / 0 6 , C 0 1 B 2 1 / 0 8 が優先) [3]	25/023	・・赤りんの [2]
21/083	・・1またはそれ以上のハロゲン原子を含むもの [3]	25/027	・・黄りんの [2]
21/084	・・・1またはそれ以上の酸素原子をさらに含むもの，例．ハロゲン化ニトロシル [3]	25/04	・りんの精製
21/086	・・1またはそれ以上のいおう原子を含むもの [3]	25/043	・・赤りんの [2]
21/087	・・1またはそれ以上の水素原子を含むもの [3]	25/047	・・黄りんの [2]
21/088	・・・1またはそれ以上のハロゲン原子をさらに含むもの [3]	25/06	・りん化水素
21/09	・・・ハロゲノアミン，例．クロラミン [3]	25/08	・その他のりん化合物
21/092	・・・1またはそれ以上の金属原子をさらに含むもの [3]	25/10	・りんのハロゲン化物またはオキシハロゲン化物 [2]
21/093	・・・1またはそれ以上のいおう原子をさらに含むもの [3]	25/12	・りんの酸化物
21/094	・・・・酸基を含むニトロシル [3]	25/14	・りんのいおう，セレンまたはテルル化合物
21/096	・・・・アミド硫酸；その塩 [3]	25/16	・りんのオキシ酸；その塩 (ペルオキシ酸またはその塩 C 0 1 B 1 5 / 0 0)
21/097	・・りん原子を含むもの [3]	25/163	・・亜りん酸；その塩 [2]
21/098	・・・窒化二ハロゲン化りん；その重合体 [3]	25/165	・・次亜りん酸；その塩 [2]
21/12	・・カルバミン酸；その塩	25/168	・・ピロ亜りん酸；その塩 [2]
21/14	・・ヒドロキシルアミン；その塩	25/18	・・りん酸
21/16	・・ヒドラジン；その塩	25/20	・・・元素状りんまたは無水りん酸からの製造
21/20	・窒素酸化物；窒素のオキシ酸；その塩	25/22	・・・りん酸塩含有原料を酸と反応させることによる製造，例．湿式法
21/22	・・亜酸化窒素 (N ₂ O)	25/222	・・・・硫酸，主として硫酸より成る酸の混合物またはその場で硫酸を生成させる混合化合物，例．二酸化いおう，水および酸素の混合物，によるもの [3]
21/24	・・酸化窒素 (NO)	25/223	・・・・・硫酸カルシウムのただ一つの形だけが生成されるもの [3]
21/26	・・・アンモニアの接触的酸化による製造	25/225	・・・・・二水化物法 [3]
21/28	・・・・装置	25/226	・・・・・半水化物法 [3]
21/30	・・・窒素の酸化による製造	25/228	・・・・・硫酸カルシウムの一形態が生成しついで他の形態に転化するもの [3]
21/32	・・・・装置	25/229	・・・・・半水化物 二水化物法 [3]
21/34	・・三酸化窒素 (N ₂ O ₃)	25/231	・・・・・二水化物 半水化物法 [3]
21/36	・・二酸化窒素 (NO ₂ , N ₂ O ₄) (C 0 1 B 2 1 / 2 6 , C 0 1 B 2 1 / 3 0 が優先)	25/232	・・・・・りん酸塩含有原料を濃硫酸と反応させひきつづき得られたものを浸出することによる製造，例．クリンカー法 [3]
21/38	・・硝酸	25/234	・・・精製；安定化；濃縮 (製造を伴う精製 C 0 1 B 2 5 / 2 2 ; 液 - 液抽出を含む製造 C 0 1 B 2 5 / 4 6) [3]
21/40	・・・窒素酸化物の吸収による製造	25/235	・・・・浄化；溶解不純物の後沈 (P o s t p r e c i p i t a t i o n) を防止
21/42	・・・硝酸塩からの製造		
21/44	・・・濃縮		
21/46	・・・精製；分離		
21/48	・・硝酸塩の一般的製造方法 (特に個々の		

	するための安定化 [3]	32/176	・・・切断 [2 0 1 7 . 0 1]
25/237	・・・不純物の選択的除去 [3]	32/178	・・・開口；充填 [2 0 1 7 . 0 1]
25/238	・・・陽イオン不純物 [3]	32/18	・ナノオニオン；ナノスクロール；ナノホーン；ナノコーン；ナノウォール [2 0 1 7 . 0 1]
25/24	・縮合りん酸	32/182	・グラフェン [2 0 1 7 . 0 1]
25/26	・りん酸塩（過りん酸塩 C 0 1 B 1 5 / 1 6 ）	32/184	・・・製造 [2 0 1 7 . 0 1]
25/28	・・・りん酸アンモニウム	32/186	・・・化学蒸着 [C V D] によるもの [2 0 1 7 . 0 1]
25/30	・・・アルカリ金属りん酸塩	32/188	・・・エピタキシャル成長によるもの [2 0 1 7 . 0 1]
25/32	・・・マグネシウム，カルシウム，ストロンチウムまたはバリウムのりん酸塩	32/19	・・・剥離によるもの [2 0 1 7 . 0 1]
25/34	・・・りん酸マグネシウム	32/192	・・・黒鉛酸化物から出発するもの [2 0 1 7 . 0 1]
25/36	・・・りん酸アルミニウム	32/194	・・・後処理 [2 0 1 7 . 0 1]
25/37	・・・重金属のりん酸塩 [2]	32/196	・・・精製 [2 0 1 7 . 0 1]
25/38	・・・縮合りん酸塩	32/198	・・・酸化グラフェン [2 0 1 7 . 0 1]
25/39	・・・アルカリ金属の [3]	32/20	・黒鉛 [2 0 1 7 . 0 1]
25/40	・・・ポリりん酸塩 [2]	32/205	・製造 [2 0 1 7 . 0 1]
25/41	・・・アルカリ金属の [3]	32/21	・後処理 [2 0 1 7 . 0 1]
25/42	・・・ピロりん酸塩 [2]	32/215	・・・精製；製鉄において形成される黒鉛の回収または精製，例．キッシュ黒鉛 [2 0 1 7 . 0 1]
25/44	・・・メタりん酸塩 [2]	32/22	・・・層間化合物 [2 0 1 7 . 0 1]
25/445	・・・アルカリ金属の [3]	32/225	・・・膨張；剥離 [2 0 1 7 . 0 1]
25/45	・・・複数の金属，または金属とアンモニウムを含むもの [3]	32/23	・・・酸化 [2 0 1 7 . 0 1]
25/455	・・・ハロゲンを含むもの [3]	32/25	・ダイヤモンド [2 0 1 7 . 0 1]
25/46	・液 - 液抽出を含む製造 [2]	32/26	・製造（超高压の使用によるもの B 0 1 J 3 / 0 6 ；結晶成長によるもの C 3 0 B 2 9 / 0 4 ） [2 0 1 7 . 0 1]
32/00	炭素；その化合物（C 0 1 B 2 1 / 0 0 ， C 0 1 B 2 3 / 0 0 が優先；過炭酸塩 C 0 1 B 1 5 / 1 0 ；カーボンブラック C 0 9 C 1 / 4 8 ） [2 0 1 7 . 0 1]	32/28	・後処理，例．精製，照射，分離または回収 [2 0 1 7 . 0 1]
32/05	・炭素の製造または精製でグループ C 0 1 B 3 2 / 1 5 ， C 0 1 B 3 2 / 2 0 ， C 0 1 B 3 2 / 2 5 ， C 0 1 B 3 2 / 3 0 に包含されないもの [2 0 1 7 . 0 1]	32/30	・活性炭 [2 0 1 7 . 0 1]
32/10	・ふっ化炭素，例．[C F] _n または [C 2 F] _n （その黒鉛層間化合物 C 0 1 B 3 2 / 2 2 ） [2 0 1 7 . 0 1]	32/306	・分子ふるい特性を持ったもの [2 0 1 7 . 0 1]
32/15	・ナノサイズの炭素物質 [2 0 1 7 . 0 1]	32/312	・製造 [2 0 1 7 . 0 1]
32/152	・フラーレン [2 0 1 7 . 0 1]	32/318	・・・出発物質に特徴のあるもの [2 0 1 7 . 0 1]
32/154	・・・製造 [2 0 1 7 . 0 1]	32/324	・・・廃棄物，例．タイヤまたは亜硫酸パルプ廃液，からのもの [2 0 1 7 . 0 1]
32/156	・・・後処理 [2 0 1 7 . 0 1]	32/33	・・・石炭または石油の蒸留残渣からのもの；石油酸スラッジからのもの [2 0 1 7 . 0 1]
32/158	・カーボンナノチューブ [2 0 1 7 . 0 1]	32/336	・・・ガス状活性化剤に特徴のあるもの [2 0 1 7 . 0 1]
32/159	・・・シングルウォール [2 0 1 7 . 0 1]	32/342	・・・非ガス状活性化剤に特徴のあるもの [2 0 1 7 . 0 1]
32/16	・・・製造 [2 0 1 7 . 0 1]	32/348	・・・金属化合物 [2 0 1 7 . 0 1]
32/162	・・・触媒に特徴のあるもの [2 0 1 7 . 0 1]	32/354	・後処理 [2 0 1 7 . 0 1]
32/164	・・・連続プロセスを含むもの [2 0 1 7 . 0 1]	32/36	・・・再活性化または再生 [2 0 1 7 . 0 1]
32/166	・・・液相中 [2 0 1 7 . 0 1]	32/366	・・・物理的处理によるもの，例．照射
32/168	・・・後処理 [2 0 1 7 . 0 1]		
32/17	・・・精製 [2 0 1 7 . 0 1]		
32/172	・・・選別 [2 0 1 7 . 0 1]		
32/174	・・・誘導体化；可溶化；溶媒への分散 [2 0 1 7 . 0 1]		

	によるもの、炭素質フィードストックへの通電によるものまたは再利用可能な不活性加熱体の使用によるもの[2 0 1 7 . 0 1]		0 1 B 1 5 / 1 4 ; 炭化けい素 C 0 1 B 3 2 / 9 5 6) [3]
32/372	・ ・ ・ 被覆 ; グラフト化 ; マイクロカプセル化 [2 0 1 7 . 0 1]	33/02	・ けい素 (単結晶または特定構造を有する均質多結晶材料の形成 C 3 0 B) [5]
32/378	・ ・ ・ 精製 [2 0 1 7 . 0 1]	33/021	・ ・ 製造 (気相からの化学的被覆 C 2 3 C 1 6 / 0 0) [5]
32/384	・ ・ ・ 粒状化 [2 0 1 7 . 0 1]	33/023	・ ・ ・ シリカまたはシリカ含有材料の還元によるもの [5]
注		33/025	・ ・ ・ ・ 炭素または固体炭素質材料によるもの、すなわち炭熱法 [5]
このグループにおいて粒状化という用語は炭素性前駆体それ自体及び粘結剤、例、ピッチ、を用いて活性炭を製造する方法も包含する。[2 0 1 7 . 0 1]		33/027	・ ・ ・ シリカまたはシリカ含有材料以外の気体状または気化されたけい素化合物の分解または還元によるもの [5]
32/39	・ ・ その製造のための装置 [2 0 1 7 . 0 1]	33/029	・ ・ ・ ・ モノシランの分解によるもの [5]
32/40	・ 一酸化炭素 [2 0 1 7 . 0 1]	33/03	・ ・ ・ ・ けい素ハロゲン化物またはハロシランの分解、または水素のみを還元剤とするその還元によるもの [5]
32/50	・ 二酸化炭素 [2 0 1 7 . 0 1]	33/031	・ ・ ・ ・ ・ 四ヨウ化けい素の分解によるもの [5]
32/55	・ ・ 固体化 [2 0 1 7 . 0 1]	33/033	・ ・ ・ ・ 金属または合金のみを還元剤とする、けい素ハロゲン化物またはハロシランの還元によるもの [5]
32/60	・ 炭酸塩または重炭酸塩の一般的製造方法 (過炭酸塩 C 0 1 B 1 5 / 1 0 ; 特定の炭酸塩または重炭酸塩はその陽イオンに従い C 0 1 B ~ C 0 1 G) [2 0 1 7 . 0 1]	33/035	・ ・ ・ ・ 気体状または気化されたけい素化合物の、けい素、炭素、または耐火金属、例、タンタルまたはタングステン、の加熱フィラメントの存在下における、もしくは形成されるけい素が析出する加熱けい素棒、すなわち得られるけい素の存在下における、例、シーメンス法、分解または還元によるもの [5]
32/70	・ 炭素およびいおうを含有する化合物、例、チオフォスゲン [2 0 1 7 . 0 1]	33/037	・ ・ 精製 (ゾーンメルテングによるもの C 3 0 B 1 3 / 0 0) [5]
32/72	・ ・ 二硫化炭素 [2 0 1 7 . 0 1]	33/039	・ ・ ・ けい素の化合物への転換、選択的なその化合物の精製、及びけい素への再転換によるもの [5]
32/75	・ ・ ・ いおうまたはいおう化合物と炭化水素との反応による製造 [2 0 1 7 . 0 1]	33/04	・ けい素の水素化物
32/77	・ ・ 炭素オキシ硫化物 [2 0 1 7 . 0 1]	33/06	・ 金属けい化物
32/80	・ フォスゲン [2 0 1 7 . 0 1]	33/08	・ ハロゲンを含む化合物
32/90	・ 炭化物 [2 0 1 7 . 0 1]	33/10	・ ・ けい素、ふっ素および他の元素を含有する化合物
32/907	・ ・ オキシ炭化物 ; スルフォ炭化物 ; 炭化物の混合物 [2 0 1 7 . 0 1]	33/107	・ ・ ハロゲン化シラン [3]
32/914	・ ・ 単一元素の炭化物 [2 0 1 7 . 0 1]	33/113	・ 酸化けい素 ; その水和物 [3]
32/921	・ ・ ・ 炭化チタン [2 0 1 7 . 0 1]	33/12	・ ・ シリカ ; その水和物、例、うろこ状けい酸 [3]
32/928	・ ・ ・ アクチニド炭化物 [2 0 1 7 . 0 1]	33/14	・ ・ ・ コロイド状シリカ、例、ディスパージョン、ゲル、ゾル [3]
32/935	・ ・ ・ アルカリ金属、ストロンチウム、バリウムまたはマグネシウムの炭化物 [2 0 1 7 . 0 1]	33/141	・ ・ ・ ・ ヒドロゾルまたは水性ディスパージョンの製造 [3]
32/942	・ ・ ・ 炭化カルシウム [2 0 1 7 . 0 1]	33/142	・ ・ ・ ・ ・ けい酸塩の酸処理によるもの [3]
32/949	・ ・ ・ 炭化タングステンまたは炭化モリブデン [2 0 1 7 . 0 1]	33/143	・ ・ ・ ・ ・ けい酸塩の水溶液の [3]
32/956	・ ・ ・ 炭化けい素 [2 0 1 7 . 0 1]	33/145	・ ・ ・ ・ ヒドロオルガノゾル、オルガノゾルまたは有機媒体中のディスパージョンの製造 [3]
32/963	・ ・ ・ ・ けい素を含む化合物からの製造 [2 0 1 7 . 0 1]		
32/97	・ ・ ・ ・ ・ S i O または S i O 2 からの製造 [2 0 1 7 . 0 1]		
32/977	・ ・ ・ ・ ・ けい素を含む有機化合物からの製造 [2 0 1 7 . 0 1]		
32/984	・ ・ ・ ・ ・ けい素元素からの製造 [2 0 1 7 . 0 1]		
32/991	・ ・ ・ 炭化ほう素 [2 0 1 7 . 0 1]		
33/00	けい素 ; その化合物 (C 0 1 B 2 1 / 0 0 , C 0 1 B 2 3 / 0 0 が優先 ; 過けい酸塩 C		

- 33/146 ・・・・ゾルの後処理（ヒドロゾルからのヒドロオルガノゾル，オルガノゾルまたは有機媒体中のディスパージョンの製造 C 0 1 B 3 3 / 1 4 5) [3]
- 33/148 ・・・・濃縮；乾燥；脱水；安定化；精製 [3]
- 33/149 ・・・・被覆 [3]
- 33/151 ・・・・あるゾルを別のゾルに漸進的に添加すること，すなわち「ヒール (h e e l) 」を用いる粒子の「形成」，によるもの [3]
- 33/152 ・・・・ヒドロゲルの製造 [3]
- 33/154 ・・・・けい酸塩水溶液の酸処理によるもの [3]
- 33/155 ・・・・ヒドロオルガノゲルまたはオルガノゲルの製造 [3]
- 33/157 ・・・・ゲルの後処理 [3]
- 33/158 ・・・・精製；乾燥；脱水 [3]
- 33/159 ・・・・被覆または疎水化 [3]
- 33/16 ・・・・シリカキセロゲルの製造 [3]
- 33/18 ・・・・ゾル状でもゲル状でもない微粉状のシリカの製造；その後処理（顔料性または充てん剤の性質を改良するための処理 C 0 9 C) [3]
- 33/187 ・・・・けい酸塩の酸処理によるもの [3]
- 33/193 ・・・・けい酸塩の水溶液の [3]
- 33/20 ・けい酸塩（過けい酸塩 C 0 1 B 1 5 / 1 4)
- 33/22 ・・けい酸マグネシウム
- 33/24 ・・アルカリ土類金属けい酸塩
- 33/26 ・・アルミニウム含有けい酸塩 [5]
- 33/32 ・・アルカリ金属けい酸塩 (C 0 1 B 3 3 / 2 6 が優先) [3]
- 33/36 ・・塩基交換特性を有するが分子ふるい特性を有しないもの [6]
- 33/38 ・・・・層をなした塩基交換けい酸塩，例．粘土，雲母，またはケニアイト型もしくはマガダイト型のアルカリ金属けい酸塩 [6]
- 33/40 ・・・・粘土 [6]
- 33/42 ・・・・雲母 [6]
- 33/44 ・・・・アンモニウム，ホスホニウムまたはスルホニウム化合物のような有機化合物とのイオン交換により，または有機化合物の挿入により層をなした塩基交換けい酸塩から得られる生産物，例．有機粘土物質 [6]
- 33/46 ・・・・無定型けい酸塩，例．いわゆる“アモルファスゼオライト” [6]
- 35/00 ほう素；その化合物（モノボラン，ジボラン，金属ほう水素化合物またはその付加錯化合物 C 0 1 B 6 / 0 0 ；過ほう酸塩 C 0 1 B 1 5 / 1 2 ；窒素との二元化合物 C 0 1

- B 2 1 / 0 6 ；りん化合物 C 0 1 B 2 5 / 0 8 ；炭化物 C 0 1 B 3 2 / 9 9 1) [2]
- 35/02 ・ほう素；ほう化物 [2]
- 35/04 ・・金属のほう化物 [2]
- 35/06 ・ほう素とハロゲンとの化合物 [2]
- 35/08 ・ほう素および窒素，りん，酸素，いおう，セレンまたはテルルを含む化合物 [2]
- 35/10 ・・ほう素および酸素を含む化合物 (C 0 1 B 3 5 / 0 6 が優先) [2]
- 35/12 ・・・・ほう酸塩 [2]
- 35/14 ・・ほう素および窒素，りん，いおう，セレンまたはテルルを含む化合物 [2]
- 35/16 ・ほう素の 2 原子間の直接結合を含む化合物，例．C l ₂ B B C l ₂ [2]
- 35/18 ・3 個以上のほう素原子を含む化合物，例．N a B ₃ H ₈ ， M g B ₁₀ B r ₁₀ (ボラゾール C 0 1 B 3 5 / 1 4) [2]

化学構造よりもむしろ物理的または化学的特性に主として特徴のある化合物 [6]

- 37/00 分子ふるい特性を有するが塩基交換特性を有しない化合物 [6]
- 37/02 ・結晶性シリカ多形体，例．シリカライト [6]
- 37/04 ・アルミノりん酸塩 [A P O 化合物] [2 0 0 6 . 0 1]
- 37/06 ・他の元素，例．金属，ほう素，を含むアルミノりん酸塩 [6]
- 37/08 ・・シリコアルミノりん酸塩 [S A P O 化合物] [2 0 0 6 . 0 1]
- 39/00 分子ふるい特性と塩基交換特性を有する化合物，例．結晶性ゼオライト；その製造；後処理，例．イオン交換または脱アルミニウム（収着特性を変えるための処理，例．バインダーを用いる成形，B 0 1 J 2 0 / 1 0 ；触媒特性を変えるための処理，例．ゼオライトを触媒として使えるようにするための処理の組合せ B 0 1 J 2 9 / 0 4 ；イオン交換特性を改良するための処理 B 0 1 J 3 9 / 1 4) [6]

注

注 [6]

このグループにおいては，下記の用語は以下に示す意味で用いる：

・“ゼオライト”は以下のものを意味する：

i 塩基交換特性と分子ふるい特性を有する結晶性アルミノけい酸塩で，四面体酸化物単位の三次元の微小孔の格子骨格構造を有するもの；

i i 上記 i と同形の化合物であって，その骨格の中のアルミニウムあるいはけい素原子が，部分的または全部，他の元素の原子，例．ガリウム，ゲルマニウム，りんまたはほう素，と置換されるもの。

39/02 ・結晶性アルミノけい酸塩ゼオライト；そ

合物 [6]

- の同形置換化合物；その直接製造；もう一つの型の結晶性ゼオライトを含む反応混合物から，または前もって形成された反応物質からの製造：その後処理 [6]
- 39/04 ・ ・ すくなくとも一つの有機鋳型指向剤，例．イオン性第 4 級アンモニウム化合物またはアミノ化合物，を用いるもの [6]
- 39/06 ・ ・ 格子骨格のアルミニウムまたはけい素原子を他の元素で置換する手段に特徴がある同形置換ゼオライトの製造 [6]
- 39/08 ・ ・ ・ アルミニウム原子の全部置換 [6]
- 39/10 ・ ・ ・ 置換原子がりん原子であるもの [6]
- 39/12 ・ ・ ・ 置換原子がほう素原子であるもの [6]
- 39/14 ・ ・ A 型 [6]
- 39/16 ・ ・ ・ 種子以外のアルミナまたはシリカ源を除くアルカリ金属アルミン酸塩およびアルカリ金属けい酸塩の水溶液からのもの [6]
- 39/18 ・ ・ ・ 粘土型のアルミニウムけい酸塩，またはアルミノけい酸塩を少なくとも一つ含有する反応混合物からのもの，例．カオリン，メタカオリン，その発熱変成体，またはアロフエン [6]
- 39/20 ・ ・ フォージャサイト型，例．X 型または Y 型 [6]
- 39/22 ・ ・ ・ X 型 [6]
- 39/24 ・ ・ ・ Y 型 [6]
- 39/26 ・ ・ モルデナイト型 [6]
- 39/28 ・ ・ フィリップサイトまたは重十字沸石 [ハーモトーム] 型，例．B 型 [6]
- 39/30 ・ ・ エリオナイトまたはオフレイイト型，例．ゼオライト T [6]
- 39/32 ・ ・ L 型 [6]
- 39/34 ・ ・ Z S M - 4 型または 型 [6]
- 39/36 ・ ・ ペンタシル型，例．Z S M - 5，Z S M - 8 または Z S M - 1 1 型 [6]
- 39/38 ・ ・ ・ Z S M - 5 型 [6]
- 39/40 ・ ・ ・ すくなくとも一つの有機鋳型指向剤を用いるもの [6]
- 39/42 ・ ・ Z S M - 1 2 型 [6]
- 39/44 ・ ・ フェリエライト型，例．Z S M - 2 1，Z S M - 3 5 または Z S M - 3 8 型 [6]
- 39/46 ・ ・ X 線回折図形および組成の規定に特徴のある他の型 [6]
- 39/48 ・ ・ ・ すくなくとも一つの有機鋳型指向剤を用いるもの [6]
- 39/50 ・ 無機塩基または塩が格子骨格のチャンネルを閉じるゼオライト，例．方ソーダ石（ソーダライト），カンクリナイト，ゆう方石（ノゼアン），藍方石（オウイナイト） [6]
- 39/52 ・ ・ 方ソーダ石（ソーダライト） [6]
- 39/54 ・ りん酸塩，例．A P O または S A P O 化